

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

全地域において、高齢化により、認知症高齢者の増加や、独居、老々世帯も増加に加え、自治会や老人会に加入していない世帯も多く、地域からの孤立も問題となっている。また、コロナウイルス感染症の影響もあり、高齢者のフレイル・孤立が例年以上に加速している。各地域見守り体制の整備を進めており、ケアプラザとして情報共有や、様々な情報提供等の支援を行い、地域での見守り体制の整備に地域と共に取り組んでいく。

今年度の重点的な取組

新規
継続

— 具体的な取組内容 —

<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<p>体制整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で買い物支援に困っている方たちのために買い物マップを作成し、ケアマネジャー等へ配布した。 ・区役所・地区社協・自治会長・民生委員など交えた会議に参加・企画を行い、関係性作りの強化を行った。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<p>高齢者のフレイル予防・権利擁護業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員でフレイル予防・詐欺予防啓発の動画を作成し、地域の事業所や、ホームページ上で上映・公開を行った。 ・フレイル予防・社会参加(孤立予防)のために、各地区の公園で365歩のマーチ体操を開催した。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<p>医療連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急隊との連携強化のため、救急隊への情報提供用紙の普及活動を行った。 ・協力医との連携強化のため、全ての職員が協力医来訪相談の内容を共有できるよう、議事録作成・回覧を行った。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<p>企業連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京セラと連携し、スマホ講座の継続した開催を行った。自主化に向け、ボランティア育成にも力を入れ取り組んだ。 ・子育て支援センター(ポポラ)と連携し、365歩のマーチ体操を次年度は共催で開催できるよう打合せを行った。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<p>障害・子育て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神障がい地域の理解を深めるために、啓発講座を地域へ出張で開催した。 ・子育て世代が孤立しないために、すすくプラザの回数を増やすなど居場所作りの強化を行った。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

新型コロナウイルスにより、自主事業はじめ、地域活動、相談支援など、ほぼすべての活動に影響が出た。その中で、ケアプラザとして何が求められているのか、何をやるべきかを日々考え、既存の事業や支援方法を見直した。特に高齢者においては、老人会やサロンなど様々な活動が自粛により活動中止や、団体によっては解散し、外出機会の減少により、心身の機能低下が課題となっていた。そこで、正しい情報を伝え、感染を過剰に恐れないように、チラシの作成や、SNSやYoutubeを活用し新型コロナウイルスに関する情報の発信を行った。その他各団体への感染予防対策方法を伝えるのと同時に、活動再開支援や、継続支援を行った。買い物困難者に対しては地域の配達を行っている商店やスーパーを掲載した「買い物マップ」の作成や、運動不足の高齢者を集め、各地域において「365歩のマーチ体操」を実施。新型コロナウイルスの蔓延により、改めて地域の声を聞き、地域のニーズを理解し、ケアプラザが何を求められているかを再認識する1年であった。地域拠点であることを理解し、行政、社協、区内の他ケアプラザとの連携がより強まったことも、地域福祉保健計画の実現に向けて大きな力となった。

区からのコメント

新型コロナウイルス感染症の蔓延により、事業の実施自体が難しい判断をせまられる状況の中、地域からケアプラザに入る相談も多く、その内容も多岐にわたっていたことと思います。一つひとつの相談に丁寧かつ迅速に対応し、それぞれの相談を通じて、地域の方が抱くケアプラザへの印象、安心感や信頼感がはっきりと示された一年であったように思います。

エリア内にある資源を様々な場面で積極的に活用し、ケアプラザが企業等と地域住民をつなぐことにより、そこから始まる取組等につなげられ、地域の中で新たな顔と顔が見える関係づくりができたことと思います。認知症になっても住み慣れた地域での生活ができるだけ継続できる見守りや介護サービスの利用が効果的にできている実績があり、地域住民への理解をさらに深めていただけるような取組み(地域ケア会議の活用)も検討できています。”

地域で起こった動き等の情報共有が適切で、何か問題が起きた時にも、区・区社協とともに解決に向けた取組をスムーズに進めることができている。今後も引き続き情報共有に努め、円滑な地域支援につなげていただきたいと思います。

令和2年度横浜市加賀原地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<ul style="list-style-type: none"> ・公設の施設であることの理解と、公正中立な対応の必要性について職員教育を行い、常に高い意識を持ち業務に取り組みます。 ・公設の施設として、住民、地域団体、事業所に対して公正中立の立場で業務にあたります。特に事業所選択に係る相談等では、相談者の意志を尊重し、原則として事業所一覧を提示するなど、複数の選択肢がある事を相談者が知る機会を設けることを前提に相談業務にあたります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提供する福祉・保健活動において、活動中における事故を防止し、又発生した事故に対し適切な対応ができるようにマニュアルを定めています。 ・個人情報保護規定および、個人情報保護に関する関連法令を遵守し、十分な配慮のもと個人情報・保護に努めます。
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・公設の施設である事を職員全員が理解するために研修を実施しました。 ・相談対応時はハートページを活用し、相談者のニーズに合ったサービスについて情報提供を行いました。その他介護・医療サービスだけでなく、地域のインフォーマルサービスについても積極的に情報提供を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事故発生時は対応マニュアルに沿い適切かつ迅速な対応を実施しています。関係者・関係各部署への連絡・連携を密に行うことにより、問題が発生することなく解決しています。 ・個人情報保護に関する研修や日々の意識を高めることにより、個人情報漏出等の事故は発生していません。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・超高齢化社会へ進行している現状を理解し、担当する包括支援センターが介護予防サービス計画に基づくサービスを提供します。委託においては居宅介護事業所との常日頃から連携を行い、委託依頼含めて円滑に介護予防サービス等の提供が確保されるように努めます。 	ケアプラザに併設した居宅介護支援事業所として、担当するご利用者が住み慣れた地域で自分らしく生活が送れるように、ケアプラザ内で地域情報を共有し、地域の特性を理解したうえで介護保険サービスのみではなく、インフォーマルサービスを積極的に活用していきます。
利用料金・実費負担		
職員体制	<ul style="list-style-type: none"> ・常勤職員(生活相談員4名) ・常勤看護師1名 ・非常勤介護員9名 ・非常勤看護師3名 ・非常勤運転手3名 	<ul style="list-style-type: none"> ・主任介護支援専門員1名(管理者) ・常勤介護支援専門員2名 ・非常勤介護支援専門員1名
契約者数	258	135

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標	固定概念にとらわれず、ご利用者が望む通所介護の実現と時代を先取りした革新的で、斬新な取り組みを積極的に取り入れ、地域に根付いた通所介護を作り上げていく。		
実施体制	【実施日数】 359日 【提供時間】 7時間 【定員】 45名	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】

<p>利用料金・実費負担</p>	<p>(1割負担) ・要介護1(671円)・要介護2(793円) ・要介護3(919円)・要介護4(1,045円) ・要介護5(1,171円)・食費700円(おやつ150円含) ・入浴介助加算(43円)・サービス提供体制加算(7円) ・実費負担 ・おむつ1枚(100円)・パット(20円)</p>		
<p>職員体制</p>	<p>・常勤職員(生活相談員4名) ・常勤看護師1名 ・非常勤介護員9名 ・非常勤看護師3名 ・非常勤運転手3名</p>		
<p>契約者数等</p>	<p>【延べ利用者数】12287 【契約者数】155</p>	<p>【延べ利用者数】 【契約者数】</p>	<p>【延べ利用者数】 【契約者数】</p>

令和2年度「横浜市加賀原地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	16,631,871		16,631,871	15,452,473	1,179,398	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0	20,900	△ 20,900	
雑入	0	0	0	94,877	△ 94,877	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0	85,457	△ 85,457	
その他			0	9,420	△ 9,420	
その他	4,400,169		4,400,169		4,400,169	
収入合計	21,032,040	0	21,032,040	15,568,250	5,463,790	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,313,000	0	11,313,000	9,185,251	2,127,749	
本俸	11,313,000		11,313,000	7,137,347	4,175,653	
社会保険料			0	694,790	△ 694,790	
手当計			0	1,246,726	△ 1,246,726	
健康診断費			0	31,125	△ 31,125	
勤労者福祉共済掛金			0	75,263	△ 75,263	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額			0		0	
その他			0		0	
事務費	1,358,000	0	1,358,000	1,478,359	△ 120,359	
旅費			0	9,820	△ 9,820	
消耗品費	1,358,000		1,358,000	197,813	1,160,187	
会議随費			0		0	
印刷製本費			0	139,308	△ 139,308	
通信費			0	223,751	△ 223,751	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0		0	
その他			0		0	
備品購入費			0	728,926	△ 728,926	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険			0		0	
職員等研修費			0	5,000	△ 5,000	
振込手数料			0		0	
リース料			0	63,122	△ 63,122	
手数料			0		0	
地域協力費			0		0	
その他			0	110,619	△ 110,619	
事業費	306,000	0	306,000	117,654	188,346	
運営協議会経費	42,000		42,000	42,000	0	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	264,000		264,000	75,654	188,346	
その他			0		0	
管理費	6,676,000	0	6,676,000	3,824,834	2,851,166	
光熱水費			0		0	
清掃費	6,376,000		6,376,000		6,376,000	
機械警備費			0		0	
設備保全費	0	0	0	0	0	
空調衛生設備保守			0		0	
消防設備保守			0		0	
電気設備保守			0		0	
害虫駆除清掃保守			0		0	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費			0		0	
共益費			0		0	
その他	300,000		300,000	3,824,834	△ 3,524,834	
修繕費	474,000		474,000	473,605	395	予算：指定額
公租公課	905,040	0	905,040	0	905,040	
事業所税			0		0	
消費税	905,040		905,040		905,040	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0	15,079,703	△ 15,079,703	
支出合計	21,032,040	0	21,032,040	30,159,406	△ 9,127,366	
差引	0	0	0	△ 14,591,156	14,591,156	

自主事業費 収入	0	0	0	20,900	△ 20,900	
自主事業費 支出	264,000	0	264,000	75,654	188,346	
自主事業 収支	△ 264,000	0	△ 264,000	△ 54,754	1,939,403	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	85,457	△ 85,457	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	85,457	△ 31,125	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

**令和2年度「横浜市加賀原地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援＞**

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	29,108,000		29,108,000	26,798,526	2,309,474	横浜市より
指定管理料【介護予防】	151,000		151,000	152,000	△ 1,000	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,789,000		5,789,000	5,795,000	△ 6,000	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0	1,000	△ 1,000	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			2,035,000		2,035,000	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他	2,035,000		2,035,000		2,035,000	
収入合計	37,083,000	0	37,083,000	32,746,526	4,336,474	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	32,689,000	0	32,689,000	26,275,237	6,413,763	
本俸	32,689,000		32,689,000	15,784,241	16,904,759	
社会保険料			0	3,354,610	△ 3,354,610	
手当計			0	6,795,724	△ 6,795,724	
健康診断費			0	2,375	△ 2,375	
勤労者福祉共済掛金			0	328,387	△ 328,387	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額			0	9,900	△ 9,900	
その他			0	0	0	
事務費	1,303,000	0	1,303,000	1,751,348	△ 448,348	
旅費			0	30,195	△ 30,195	
消耗品費	1,303,000		1,303,000	189,914	1,113,086	
会議ठी費			0		0	
印刷製本費			0	139,308	△ 139,308	
通信費			0	790,030	△ 790,030	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0		0	
その他			0	0	0	
備品購入費			0	372,850	△ 372,850	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険			0		0	
職員等研修費			0		0	
振込手数料			0		0	
リース料			0	63,122	△ 63,122	
手数料			0		0	
地域協力費			0		0	
その他			0	165,928	△ 165,928	
事業費	1,190,000	0	1,190,000	517,185	672,815	
協力医	630,000		630,000	504,000	126,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	100,000		100,000	9,236	90,764	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	151,000		151,000	2,197	148,803	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	309,000		309,000	1,752	307,248	予算：指定額
その他			0		0	
管理費	1,775,000	0	1,775,000	1,016,725	758,275	
光熱水費			0		0	
清掃費	1,775,000		1,775,000		1,775,000	
機械警備費			0		0	
設備保全費	0	0	0	0	0	
空調衛生設備保守			0		0	
消防設備保守			0		0	
電気設備保守			0		0	
害虫駆除清掃保守			0		0	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費			0		0	
共益費			0		0	
その他			0	1,016,725	△ 1,016,725	
修繕費	126,000		126,000	125,895	105	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	37,083,000	0	37,083,000	29,686,390	7,396,610	
差引	0	0	0	3,060,136	△ 3,060,136	

自主事業費 収入	0	0	0	1,000	△ 1,000	
自主事業費 支出	560,000	0	560,000	13,185	546,815	
自主事業 収支	△ 560,000	0	△ 560,000	△ 12,185	△ 547,815	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和2年度 加賀原地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 横浜市加賀原地域ケアプラ

令和2年4月1日 ~ 令和3年3月31日

(単位:千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			予防通所介護・第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入			0	11000	11619	-619	123895	126520	-2625			0
	その他	14387	15203	-816	2600	2945	-345	0	0	0	0	0	0
	介護予防ケアマネジメント費	14387	15203	-816	2600	2945	-345			0			0
	事業・負担金収入			0			0			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
	収入合計(A)	14387	15203	-816	13600	14564	-964	123895	126520	-2625	0	0	0
支出	人件費	20100	20199	-99	16472	17562	-1090	58201	67719	-9518			0
	事務費	1150	1062	88	4701	2330	2371	21938	20174	1764			0
	事業費	50	36	14	1578		1578	7364	13001	-5637			0
	管理費			0			0			0			0
	その他	11587	10966	621	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料	11587	10966	621			0			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
	支出合計(B)	32887	32263	624	22751	19892	2859	87503	100894	-13391	0	0	0
	収支 (A)-(B)	-18500	-17060	-1440	-9151	-5328	-3823	36392	25626	10766	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和2年度 自主事業計画書・報告書

<p>■事業</p> <p>1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業</p> <p>3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）</p> <p>6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）</p>	<p>■事業の性質</p> <p>1：優先的に取り組みが求められる事業</p> <p>2：福祉保健活動に発展させることをねらった事業</p>	<p>■主な対象者、従たる対象者</p> <p>1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児</p> <p>4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者</p> <p>7：その他</p>
--	--	---

J列からP列は非表示

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者	事業内容・実施時期	地域ケアプラザとしての関わり	打ち合わせ等企画立案段階から参加	広報・PR(名義貸し含む)	設置、案内受付等	その他	自主活動化するまでの目標(自標(自標年月を記載))	共催相手・後方支援相手	合計		
																実施回数	延べ参加人数	
1	フレイル予防・ハマトレラン配布 フレイル予防体操動画作成・発信	令和2年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	長期間の自費生活による、筋力低下などのフレイル状態やコロナうつ・孤独を予防するための実施	1:高齢者	5.6	チラシ作成し、4月より民生委員や地域役員、ケアマネジャーを通して地域へ発信。5月より自作でフレイル予防体操動画を作成し、薬局・診療所・金融機関等の施設や、ネットでも発信。9月に第2弾を配信。	1:主催							0	0	
2	特別定額給付金申請書の書き方及び特別定額給付金にまつわる詐欺についてのチラシ配布(1回目)	令和2年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	特別定額給付金についての詐欺が全国的に発生していることにかんがみ、地域の方に特別定額給付金について正しい理解をしていただくことにより、詐欺被害を予防する。	1:高齢者	5.7	総務省のサイトを参考に4月下旬から定額給付金申請書の書き方についてのチラシと給付金にまつわる詐欺被害予防のためのチラシを作成。地域の民生委員さんにお渡しし、心配な方に配布していた。	1:主催								0	0
3	特別定額給付金申請書の書き方及び特別定額給付金にまつわる詐欺についてのチラシ配布(2回目)	令和2年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	特別定額給付金についての詐欺が全国的に発生していることにかんがみ、地域の方に特別定額給付金について正しい理解をしていただくことにより、詐欺被害を予防する。	1:高齢者	5.7	5月下旬、横浜市内での定額給付金の申請方法が、総務省のサイトに掲載されている方法と違いがあったため、横浜市仕様申請書の作成方法を周知するとともに改めて詐欺被害防止を呼び掛けるチラシを配布。	1:主催								0	0
4	特別定額給付金からむれり詐欺についての寸劇を動画上映	令和2年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	特別定額給付金について、行政や金融機関を騙るものからメールや電話が来たらそれは詐欺であることを周知する。	1:高齢者	5.6	5月から特別定額給付金についての代表的な詐欺である電子メールを使って個人情報抜き取る詐欺について寸劇にその手口について動画に収め、地域の薬局、金融機関、診療所などで上映。	1:主催								0	0
5	コロナ禍につけこんだ新手的オレオレ詐欺の手口を紹介し、詐欺被害の予防を動画上映	令和2年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	コロナ禍につけこんだ新手的オレオレ詐欺の手口を紹介し、詐欺被害の予防を動画上映。	1:高齢者	5.6	5月からコロナ禍にまつわる新手的オレオレ詐欺について、実際に起こった事例をもとにした寸劇を動画に収め、地域の薬局、金融機関、診療所などで上映。	1:主催								0	0
6	医療連携講座	令和2年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	コロナ発症によりCMの訪問自費・勉強会も相対して難しく、情報も錯綜する中でのDrからの「今すべきCMの行動・最新情報」のDVD動画を居宅介護支援事業所に配布する。	6:事業者	5.4	8か所の居宅介護支援事業所へDVD動画を配布。①コロナウイルス最新情報②訪問自費中のCMへのモニタリングの方法③フレイル予防の為に出来る運動	1:主催							1	21	
7	介護保険講座	令和2年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域の特にご高齢者の相談窓口である包括支援センターについて理解していた。	1:高齢者	5.4	地域内の団地にて①包括支援センターの役割について②介護保険の概要とサービス利用の仕方について③最近発生した詐欺の実例と対処法について、冊子とチラシを用いて説明。	1:主催							1	10	
8	キャッシュカードすり替え詐欺の手口の寸劇を動画上映	令和2年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	最近被害が拡大しているキャッシュカードすり替え詐欺の手口を紹介し、詐欺被害を予防する。	1:高齢者	5.4	9月から、キャッシュカードすり替え詐欺について、実際に起こった事例をもとにした寸劇を動画に収め、地域の薬局、金融機関、診療所などで上映。	1:主催								0	0
9	ライブタウンにて「キャッシュカードすり替え詐欺」と「介護予防講座・介護予防体操」のDVDを視聴し、詐欺予防とフレイル予防を啓蒙	令和2年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	実際に詐欺被害の発生した集合住宅において、新たな被害拡大を予防。コロナ禍で外出機会が著しく減っているご高齢者に自宅でも出来る介護予防体操を覚えてもらう。	1:高齢者	5.4	月に一度行われるライブタウンの老人会において3か月一度当ケアプラザで時間をいただき、詐欺予防や介護予防についてなど様々な勉強会を行っている。	1:主催							2	20	
10	介護者のつらい	令和2年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	ピアカウンセリングによる感情浄化により介護者の負担を少しでも軽減する。	5:地域	5.4	8月より毎月行っている。主に介護をこなしているご家族の方に対して情報提供したり、日常の大変な思いを吐露していただく場を提供し、虐待などが起きないようにする。	1:主催							11	42	
11	聞えの勉強会	令和2年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	疾病の正しい知識を身に着けより良い生活を過ごしていただき、今後充実した地域のリーダーとして活躍の場をひろげられるようにする為に開催	1:高齢者	5.4	聞えの伝道師による「聞こえる生活を考える」映像を見ながら説明し、個別での相談	1:主催							1	12	
12	べるえきつが	令和2年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	障害児者余暇支援活動。地域の方と障害のある方、そのご家族が顔の見える関係になることを目的とする。誰でも参加できる事業を行い、年齢や障害の有無問わず集える場のひとつとする。	2:障害児・者	5.4	9月2日 アート展に飾る絵を塗る 10月10日 ハロウィン飾り 11月29日 クリスマスリース 12月12日 ジャガイモ堀	1:主催							4	19	
13	和楽路	令和2年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域のお住まいの高齢者の交流の場。また、ケアプラザ職員と信頼関係を構築し、次の活動に繋げられるよう、アプローチしていく。 ケアプラザ内で行われている事業や地域のサロン、ケアプラザ内外のサークル活動等を紹介し、地域に出るきっかけとなるよう、働きかける場とする。	1:高齢者	5.4	9月14日 包括福祉福祉士による詐欺の話と写真を見ながらおしゃべり 10月12日 成年後見制度 11月9日 エンディングノート 12月14日 ヘルスメイト 1月11日 介護保険 2月8日 川和富士散歩 3月8日 介護予防体操	1:主催							7	39	
14	すくすくプラザ	令和2年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	親子の居場所作り、親子同士の交流の場。参加者同士、参加者とケアプラザの情報交換の場。 子どもが育っていく。次の支援の場や仲間と繋がれるような、話しやすい雰囲気作り。	4:子ども・青少年	5.4	9月26日 自由遊び。紙芝居ボランティアとボロボロ支援者をゲストに。	1:主催							8	135	
15	フレイル予防体操・ミニ講話	令和2年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	長期間の自費生活による、筋力低下などのフレイル状態やコロナうつ・孤独を予防するため、直接地域のサロンへ出向き、保健師が実施	1:高齢者	5.4	8月26日川内ラジオ体操、9月12日川内食事会、9月16日、10月21日スマホ講座にて実施。	1:主催							4	29	
16	スマホ講座	令和2年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	・情報発信できるようになるなど、社会参加の機会が増える。 ・家族との日常的な連絡手段に使えるようになる。 ・災害時、緊急時に活用できる人が増える。 ・地域にスマホを使える人が増え、スマホ勉強会サークルの立ち上げに繋がる。	1:高齢者	5.4	7月30日・7月31日・9月16日 10月21日・11月18日・12月16日	1:主催							12	109	
17	川和艺术展	令和2年度	5:共催(1と3)	2:発展させるねらい	・川和地区でアートを通じて地域にある障害施設、高齢施設、地域住民が交流できる機会を作る。 ・福祉施設間が顔の見える関係となり災害時等に協力し合える体制を作る。	5:地域	5.4	10月21日～11月6日 川和艺术展を開催	1:主催							1	30	
18	干支の置物	令和2年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	・貸館利用団体による福祉保健活動の一環として集いの場を作る。 ・趣味の活動を通して地域住民がケアプラザを利用する機会を作る。	5:地域	5.4	11月27日実施	1:主催							1	9	
19	コグニサイズ・ロコモ予防体操	令和2年度	4:共催(1と2)	2:発展させるねらい	・体操サークル活動継続のための支援。	1:高齢者	5.4	10月5日、10月19日、11月2日、11月16日	3:後方支援	○	○	○		2020年12月	貸館登録団体	4	51	
20	健康の集い(軽スポーツ)	令和2年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	・池辺地区民生児童委員協議会の事業への後方支援 ・ポッチャと体操を30分ずつ行う。ポッチャを民児協、体操をケアプラザが担当。 ・詐欺について、社会福祉士が説明。	1:高齢者	5.4	11月19日実施	3:後方支援	○		○			池辺地区民生児童委員	1	9	
21	ボールウォーキング体験会	令和2年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	長期間の自費生活による、筋力低下などのフレイル状態の予防、またボールウォーキングの普及のための実施	1:高齢者	5.4	10月17日実施。都筑ボールウォーキング振興会との共催。雨天だったため、室内にて、DVD鑑賞・パワーポイントによる講話とハマトレ、実際にボールを使い、平地・階段などの歩行練習を実施。	2:共催						都筑ボールウォーキング振興会	1	6	

■ 事業 1: 地域活動交流事業 2: 地域包括支援センター運営事業 3: 生活支援体制整備事業 4: 共催 (1と2) 5: 共催 (1と3) 6: 共催 (2と3) 7: 共催 (1と2と3)	■ 事業の性質 1: 優先的に取り組みが求められる事業 2: 福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業	■ 主な対象者、従たる対象者 1: 高齢者 2: 障害児・者 3: 養育者及び乳幼児 4: 子ども・青少年 5: 地域 6: 事業者 7: その他
--	---	---

J列からP列は非表示

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者	事業内容・実施時期	地域ケアプラザとしての関わり	実施方法					合計	
										打ち合わせ等 で企画・立案段階 から参加	広報・PR(名義 貸し含む)	設置、案内 受付等	その他	自主活動化する までの目標(目標 年月を記載)	共催相手・ 後方支援相手	実施回数
22	フレイル予防の栄養講話	令和2年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	長期間の自費生活による、筋力低下などのフレイル状態やコロナうつ・孤独を予防するため、直接地域のサロンへ出向き、保健師が実施	1: 高齢者		11月10日ケアプラザ内ネットカフェ加賀原内にて実施。	1: 主催						1	20
23	地域の薬剤師さんについてみよう	令和2年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	利用者が在宅生活を安心して暮らしを継続するために必要な医療との連携。薬剤師さんによる訪問薬剤管理指導について学ぶ	6: 事業者		11月26日ケアプラザ多目的ホールで開催 CM: 8名 ヘルパー: 3名	1: 主催						1	12
24	ライブタウン老人会	令和2年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	地域の特にご高齢者の相談窓口である包括支援センターについて理解していただく。認知症	1: 高齢者		ライブタウン集会所 9月26日、12月5日	1: 主催						2	12
25	ファミリーカフェ	令和2年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	地域住民の方に最近の詐欺事例を紹介し、注意喚起を行う。 新型コロナウイルス予防接種についての最新情報や詐欺の注意喚起を行う。	1: 高齢者		フリースペース泉 12月11日、3月12日 5	1: 主催		○				2	25
26	365歩のマーチ体操(川和台のみじ公園)	令和2年度	7: 共催(1と2と3)	1: 優先的に取り組み	長期間の自費生活による、筋力低下などのフレイル状態やコロナうつ・孤独を予防するため、各地区の公園でオリジナル体操を実施。 また、以前のような活気のある地域へ戻るきっかけ作りの目的も持つ	1: 高齢者		11月10日、24日、12月8日実施 地域の自治会長・老人会・民生委員等へ相談をして、公園にてストレッチ・ラジオ体操・365歩のマーチの音楽に合わせた体操を企画。	1: 主催					3	32	
27	365歩のマーチ体操(池辺町下敷板公園)	令和2年度	7: 共催(1と2と3)	1: 優先的に取り組み	長期間の自費生活による、筋力低下などのフレイル状態やコロナうつ・孤独を予防するため、各地区の公園でオリジナル体操を実施。 また、以前のような活気のある地域へ戻るきっかけ作りの目的も持つ	1: 高齢者		11月6日、20日、12月4日実施 地域の自治会長・老人会・民生委員等へ相談をして、公園にてストレッチ・ラジオ体操・365歩のマーチの音楽に合わせた体操を企画。	1: 主催					3	68	
28	365歩のマーチ体操(加賀原ぎんなん公園)	令和2年度	7: 共催(1と2と3)	1: 優先的に取り組み	長期間の自費生活による、筋力低下などのフレイル状態やコロナうつ・孤独を予防するため、各地区の公園でオリジナル体操を実施。 また、以前のような活気のある地域へ戻るきっかけ作りの目的も持つ	1: 高齢者		11月13日、27日、12月11日実施 地域の自治会長・老人会・民生委員等へ相談をして、公園にてストレッチ・ラジオ体操・365歩のマーチの音楽に合わせた体操を企画。	1: 主催					3	27	
29	認知長サポート養成講座	令和2年度	2: 地域包括支援センター運営事業	2: 発展させる ねらい	認知症の高齢者が増加している高知	1: 高齢者		11/24池辺川内地区住民の見守りボランティアチームとなる住民に対しての講座として開催 認知症について学ぶ	1: 主催					1	17	
30	司法書士巡回相談会	令和2年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	司法書士専門による無料個別相談会	5: 地域	1,7	1/14司法書記巡回相談会を加賀原ケアプラザで開催、個別相談4組参加	1: 主催					1	4	
31	コロナワクチンに関するチラシ作成 住民への普及啓発	令和2年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	都筑区役所・横浜市ウェブページ・厚生労働省ウェブページをもとに、コロナワクチンのチラシを独自に作成。ワクチンに対する正しい知識・横浜市の接種に関する情報の普及啓発を目的とする	1: 高齢者		チラシを作成し、地域の回覧版・サロン・老人会などへ出向いた際に配布。	1: 主催					0	0	
32	出張栄養講話	令和2年度	6: 共催(2と3)	1: 優先的に取り組み	コロナ禍・長期自費による、フレイル(低たんぱく、骨粗しょう症)予防、生活習慣病(高血圧)予防の目的のため。	1: 高齢者		3月31日、月出松公園にて、グラウンドゴルフや婦人会のメンバーを対象にケアプラザ保健師が実施。	1: 主催					1	13	